

地方自治法施行 60 周年記念貨幣(徳島県)の表面図柄の説明

①千円銀貨幣(表面)(1.5倍/原寸)

『鳴門の渦潮と阿波おどりとすだちの花』



○ 鳴門の渦潮と阿波おどりとともにすだちの花をデザインしています。

※鳴門の渦潮：徳島県鳴門市と兵庫県南あわじ市の間にある鳴門海峡において、潮の干満によって発生する世界最大規模の渦潮。春と秋の大潮時に最大となり、潮流時速 20km、最大直径 20m にも及ぶ。その上には、本州四国連絡橋神戸・鳴門ルートの一部であり、1985 年（昭和 60 年）6 月 8 日に開通した全長 1,629m の大鳴門橋が架かっている。

※阿波おどり：四百有余年の昔から脈々と踊り続けられている、徳島が世界に誇る伝統芸能。その起源には、徳島城築城起源説、能の源流と言われる「風流踊り」起源説、盆踊り起源説など諸説ある。毎年 8 月 12 日～15 日に開催され、120 万人以上が訪れる「徳島市阿波おどり」をはじめ、徳島県内各地で踊られているほか、全国でも数多くの阿波おどり大会が催される。

※すだちの花：すだちは徳島原産であり、全国に出荷されるすだちのほぼ全てが徳島県産である。毎年 5 月中旬頃に白く小さな花を咲かせ、その花は徳島県の花に指定されている。

②五百円バイカラー・クラッド貨幣(表面)(2倍/原寸)

『阿波おどり』



○ 阿波おどりの女おどり（左）と男おどり（右）をデザインしています。

(徳島県作成資料より)